

目黒労協

2022春闘ニュース

No.22-03 2022年2月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net

22春闘・新春宣伝行動を実施 あわせて JAL 争議支援宣伝も！

1月17日(月)夕方の中目黒駅で、22春闘に向けた新春宣伝行動を行い、あわせてJAL争議原告団にも参加いただき、争議の早期解決を訴えました。原告団を含め、計18名の組合員が参加しました。新型コロナ・オミクロン株による感染拡大が懸念されるなかでしたが、マイク宣伝は“音源”を用意。またプラカードも多数用意しながらの宣伝でしたが、特にJALの訴えには足を止め話かけてきたり、チラシを受け取って下さる方も見受けられました。目黒労協では、22春闘の中で引き続き、JAL争議支援も含んだ宣伝行動を取り組んでいきたいと思えます。(目黒労協/執行委員会)



2022年目黒労協：JAL争議支援と旗開き 2年ぶりの“リアル”旗開き、感染拡大前に開催！

1月8日(土)正午から土建目黒会館を会場に、「JAL争議支援と旗開き—地域の仲間の団結を固め今年も頑張ろう！」を開催。JAL物販開始：正午スタートに久しぶりの“リアル集会”、みんな



集まってきました。争議団を含め27名の参加！

労協議長挨拶に続き、客乗原告団長の内田妙子さんよりJAL争議の現状・到達点報告(労協HPに速記収録)していただきました。続いて全参加者からひと言ずつの発言。労協事務局長、事務局次長からは、「今年こそはJAL争議解決を！」と訴え。JAL争議団からは、目黒区在住の3人含め4名から決意をいただきました。

その後、恒例の「新春運試し・大きく引き大会」。今年はトランプカードを使った方法で実施しまし

た。最後は副議長発声の「団結ガンバロー！」で式は終了。そして、用意した弁当+缶ビール+みかんは、お持ち帰りいただき、JAL争議団物販はほぼ完売しました。(目黒労協/執行委員会)

都立・公立病院の独法化推進を考える

国立大学は法人化以降どうなった？

昨年 8 月末に、目黒社保協主催の「都立病院の独法化問題学習会」に参加し、改めて「独法化」について考えさせられました。国立大学が独法化されてから早 17 年が過ぎましたが、独法化で国立大学がどう変わったのかをご存じの方は少ないと思いますので、実際に独法化された職場の実情を纏めました。

2004 年に国立大学を運営・管理する「国立大学法人」が各大学に設立されましたが、その目的は「国立大学の改革」でした。しかし、改革するために経営判断（競争原理と新自由主義）を導入し、序で歳出を抑制すること、つまり「予算を削りつつアウトプット（公的サービス）を最大限提供する」ことが独法化の目的で、現在のところ、歳出削減は道半ば、アウトプットについては日本の科学技術政策の失策が相まって独法化前より悪化し、国立大学法人化はデメリットばかりが際立つことになりました。

大学は運営予算に困窮するようになった

独法化によるメリット（労基法や労働安全衛生法の適用、労働争議権の復活等）は有るのですが、デメリット（特に予算関係）が大きく上回ります。独法化から 10 年以上、国から予算配当される大学運営の基盤的経費「運営費交付金」は、毎年減り続けました。各大学の予算の内、交付金が占める割合は様々ですが、全国の大学で交付金削減がそのままリストラ（教職員の解雇や非正規代替）につながりました。また、大学の運営自体がままならなくなり、閉校するか他大学と経営統合するかの選択が迫られるようになります。



2015 年、固定費を削り大学間で獲得を競う競争的予算に振替えました。低『評価』の大学はどんどん固定費が削られていき、高『評価』の大学は競争的予算の積み増しで予算増額になるので、各大学は高い『評価』を得ることを最重要視するようになりました。そのため、大学は政府の方針や施策に対して意見せず追従するようになっており、政策の良し悪しに関わらず、交付金を通じてコントロールされているのが実情なのです。

教員は研究資金獲得に奔走するようになり、研究時間が減った

運営費交付金は大学にとっては「少ない手間で自由に使える資金」です。教員も大学から配当された校費は（不正をしない限り）自由に使い、研究目的だけでなく研究室の維持管理費としての利用も OK でした。独法化により東工大では教員 1 人当たりの校費が大きく減った上に、研究室で使用する部屋面積に応じて施設利用料が請求されるようになりました。また、獲得した研究資金の数が増えれば増えるほど研究活動とは関係のない事務処理に追われまくる状態になり、研究自体が進まないという本末転倒な状況に陥りました。

作年のノーベル賞で真鍋淑郎先生（米国籍）が物理学賞しましたが、東大博士課程修了後にアメリカに渡り米国海洋大気局で行った研究が受賞対象になりました。当時の日本では全く注目されていない分野の基礎科学研究だったために研究予算を確保できず、国外で研究するしか選択肢がなかったのです。また、日本人（日本出身者）の自然科学分野のノーベル賞受賞者が出る度に、受賞者から「これは『選択と集中』以前の業績が評価されたものであり、現在の日本の科学研究体制は危機に瀕している」という声明が毎回出されるというのが、今や秋の風物詩になった感さえあります。その風物詩もあと何年続くか分かりません。

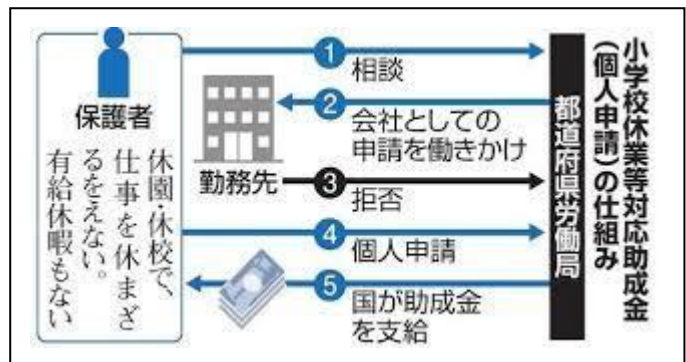
（東工大職員組合/書記長）

コロナ拡大→休校・休園急増のなか、労働相談を

コロナ休校・休園拡大。全国・全都でもそうですが、目黒区でも急増中。区HPによると、1月24-26日3日間でも9小学校・6中学校、認可保育園27園で感染者が発生。学級・学年閉鎖、学校・保育園休園などの事態に！

2020年春の突然の「全国一斉休校」時に制定、一時中断していた「小学校休業対応助成金」により、休んだ従業員に応じて助成金が支給される仕組みですが、「会社が、受け付けない・協力しない」問題が起こっています。

制度の仕組みなど、[目黒労協ホームページ](#)(→※HPよりメール可)に収録。会社がしぶるようなら、ぜひ労働組合の力を活用ください。目黒労協にも、メール・電話等ぜひご相談を！



1/18目黒労協執行委員会開催…

2022春闘、コロナの中でも闘おう！

1月18日夜、鷹番住区センターにて、第70期第3回目黒労協執行委員会開催。コロナ、まん延防止措置直前で、2部屋の仕切りを採ってひろびろ。コロナ状況を踏まえ、今後について、以下を決定しました。

*2月8日(火) 予定の第70回委員会は中止。土建目黒会館会場を生かし、プロジェクト会議を開催、新たな宣伝物作成、SNSの活用など春闘の取組み具体化を準備。

*春闘方針は別途提案：配布、意見・報告などを求める。

*2月5日(土) 予定の、最賃宣伝(中目黒駅)は中止。

*3月1日(火) 17:45～ 最賃宣伝は準備する。

*2月26日(土) 14:00～ めぐるユニオン例会は実施。

前段 13:00～ 学芸大学駅：宣伝を実施で調整する。

宣伝行動：プラスターやマイク音源、新チラシを整備中。

労働相談うけつけ体制を続け、単組の春闘を支援します

↑全労連 2022 春闘チラシ

自治体キャラバンin目黒：懇談は中止 文書でやりとり

1/19 予定の自治体キャラバン in 目黒。区との懇談は直前に区から中止申し出。区が2021年末に回答した内容に対して、文書で再質問など2021年同様の取組みに。回答では保健所などの過重労働の実態や非正規格差などが明白に。公契約条例の改善など再質問から明らかにしていきます。

労協HPに資料含め収録しています。

労協闘争委員会 2月22日(火)、3月22日(火) 予定

◆区内の22春闘要求状況 & 前年度実績

2022年1月28日現在

労組名	要 求		前年(2021年)実績	
	賃上げ	一時金・その他	賃上げ	一時金・その他
東日本三菱 自動車支部			平均7,139円(0.77%) *金額は組合推定	年間一時金：3.7ヶ月 (内訳)夏1.8ヶ月、冬1.9ヶ月
東京タイヤ			定昇：平均3541円(2.299%) (*本給テーブルの見直しは行 わない) パート平均7.2円UP	夏季一時金 1.060ヶ月(平均310,000円) パート：平均119,068円
大東通信機			定昇の実施 *右記年度末一時金を確保	・2020年度 年度末一時金： 0.5ヶ月分 ・夏季一時金：2ヶ月
スタンレー電気			賃上げ：定昇のみ (*賃金構造維持分)	年間一時金：5.3ヶ月 (平均157万円)
パスコ			【賃金改善】 期末の業績や経営状況に応 じて協議を行う	【一時金】夏季：3.4ヶ月/年間
愛隣会分会			定期昇給の実施	夏季一時金：2ヶ月
目黒学院			*賃上げ：妥結	*夏季一時金：妥結 ・学内の wi-fi 環境整備を実施
目黒医療 生協労組			*妥結	*妥結
目黒区職労			※特別区人事院勧告による	夏季一時金：2.15ヶ月
都庁職 南税支部			*東京都人事院勧告による	
都教組 目黒支部			*東京都人事院勧告による	夏季一時金：2.275ヶ月 *会計任用職員：1.25ヶ月
東工大職組	※人勤に準じる		※人事院勧告に準じる	夏季一時金：2.225ヶ月
目黒自動交通労組				
郵政産業 ユニオン			ベアなし定昇実施 (賃金カーブ維持分：3690円)	・年間一時金4.3ヶ月(昨年同様) ・均等待遇についてはほぼゼロ 回答(*労組の表現)
さわやか信金				1.87ヶ月
東急			制度に基く基本給の改定を実 施する	
全東急ストア労組				1.5ヶ月

<調査資料：大崎情報センター、「連合」春闘速報、労協調査などによるものです。>

※要求決まったら、回答が出たら、事務所に連絡お願いします

【年末統一カンパ】へのご協力、ありがとうございました！

昨年末より取り組みました『健康問題の点検の意味を兼ね、また労働者の連帯の意思を再確認するための、争議支援・職業病・長期闘病組合員・事件関係者激励の年末統一カンパ』に、合計 73,752円のご協力をいただきました。ご協力いただいた組合・組合員の皆様、大変ありがとうございました。いただいたカンパは、11名の長期闘病組合員の皆様、および JAL 争議団・東京争議団・国民救援会にお渡ししましたので、報告致します。今年も、みんなで支え合っていきましょう！